

## 情報公開文書

研究の名称	口腔扁平上皮癌における SLC7A9 (solute carrier family 7 member 9) の頸部リンパ節転移における意義に関する検討
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系歯科口腔外科学講座・山田慎一
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 2007年1月1日～2025年3月31日までの期間に富山大学附属病院歯科口腔外科および信州大学医学部附属病院歯科口腔外科で治療した口腔扁平上皮癌患者で術前治療（化学療法、放射線療法）を行っていない患者</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 本研究において、口腔癌における SLC7A9 の発現の意義を検討することにより、頸部リンパ節転移の進展メカニズムを明らかにするとともに、術後補助療法の候補となる症例の選定に寄与するマーカーとなり得るかを検討することを目的とする。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 対象症例について、診療録を用いて遡及的に背景因子、予後を抽出し、そのデータをもとに臨床病理学的因子、予後、リンパ節転移との関連性を検討する。以下の観察項目を電子カルテより抽出する。 本研究における主要評価項目は SLC7A9 の発現とリンパ節転移との関連性であり、副次的評価項目は SLC7A9 の発現と臨床病理学的因子、生存率との関連、リンパ節転移予測などの予後予測因子となる可能性の検討である。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ～ 2029年3月31日</p> <p><b>【利益相反の状況】</b> 開示すべき利益相反はない。</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 日本口腔腫瘍学会、日本口腔外科学会、日本口腔科学会での発表および、英文論文を作成し海外の専門雑誌に投稿を行う。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	観察項目：性別、初診時年齢、原発部位、組織学的分化度、TNM分類（第8版）、stage、予後、手術時の切除断端の状態、神経浸潤、脈管侵襲、YK分類、簇出、pN 個数、被膜外浸進展度、SLC7A9 発現強度、術前の NLR（好中球/リンパ球比）、転帰、治療開始日（初診日）、最終観察日を用いて統計学的に解析を行う。 他機関への試料・情報の提供は行わない。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	信州大学医学部附属病院 病院長・花岡正幸 富山大学附属病院 病院長・山本善裕
研究資料の開示	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。

試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）	歯科口腔外科学講座・山田慎一
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7383 FAX 076-434-5041 E-mail shinshin@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 歯科口腔外科学講座・山田慎一